

第3次滝川市環境基本計画ワークショップの分類整理シート

(1) 生活環境（身近な問題）【意見数：現状と課題 14、るべき姿・めざす姿 8】

		国のキーワード	グループ	現状と課題	るべき姿・めざす姿	手法・施策
ア エコライフスタイルの実践	1) エコを意識しながら生活するライフスタイルの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・デコ活 ・エシカル消費 ・ナッジ 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・エコはコストダウンということを知らない人が多い ・割り箸は突き詰めれば森林である。森林保全やごみの排出削減のために使用を控えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコはコストダウンということをPRする ・マイハシ・マイスプーン・マイフォークの普及 	
			B	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルは便利だが、マイクロプラスチックを排出する心配がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイボトルの普及 	
イ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	1) ごみの減量化（リデュース）・分別	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス ・プラスチックフリー 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・資源分別をすることのメリットを知らない人が多い ・活動している市民や活動している内容の情報が少ない ・ごみが少なくなる傾向なのに、ごみの排出量が減らない ・小さいごみ袋がない ・資源の再利用のため、ごみ分別講座を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源分別をすることのメリットを周知する ・活動している市民の情報を発信する ・ごみの減量化のための対策をする ・小さいごみ袋を導入する ・ごみ分別講座で資源の再利用をPRする ・ストレスの少ないごみの分別方法と処理方法をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> ・少ないごみだけしか入っていないごみ袋を捨てるのがもったいないと考える人向けに小さいごみ袋を導入する ・潰しているペットボトル等の処理方法を検討する
			B	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの分別がされていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの分別をする 	
	2) リユース・リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキュラーエコノミー ・ケミカルリサイクル 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・回収された廃油がどうなっているのかがわからない ・活動している市民や活動している内容の情報が少ない ・リサイクル率があがっていない ・潰しているペットボトルなどが資源ごみとして出せない 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃油の有効活用をアピールする ・活動している市民の情報を発信する ・リサイクル率向上のための対策をする ・潰しているペットボトル等の処理方法を検討する ・市民が自然とリサイクルに取り組める姿をめざす 	
			B	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルの仕組みがない（少ない） ・リサイクルの知恵を持っている人がいても1人で収束してしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別・リサイクルの仕組みを考える（ごみの価値を認める人と引き合わせるような仕組み） ・リサイクルの知恵を共有する場を設ける 	
ウ 環境美化活動の推進	1) 環境の美化	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラム 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てと不法投棄が減らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てと不法投棄を減らす 	
			B	<ul style="list-style-type: none"> ・道路沿いと公園内のポイ捨てが多い ・屋外にごみ箱がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てがされやすいところに、ごみ箱を設置する ・花を植えることによる道路・街並みの美化を図る（例：コスモスの植栽） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナッジを利用したごみ箱を設置する（例：バスケットゴール付きごみ箱）

(2) 地球環境（地球全体の問題）

【意見数：現状と課題 6、るべき姿・めざす姿 9】

国のキーワード	グループ	現状と課題	るべき姿・めざす姿	手法・施策
ア 地球温暖化対策の推進	1) 計画的な温暖化対策の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボン ・カーボンニュートラル ・GX（グリーントラストフォーメーション） ・カーボンプライギング ・カーボンオフセット ・エコアクション21 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策と日常生活の結び付き、何をしたら良いかわからない ・温暖化という言葉が当たり前になってしまっている ・温暖化対策というテーマが広すぎて身近に感じない
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金のPRが少ない、何に使えるかがわからない ・他県に比べてガス料金が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所向けに補助金の明確な使い方を周知する ・ガス料金の補助金導入 ・コミュニティバスの運用を促進し、自家用車の利用者を減らし、CO2削減につなげる
	2) 省エネルギーの推進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ZEB/ZEH ・EV/HV/PHV/FCV ・ゼロカーボン・ドライブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネについて具体的な取組が見えない ・HV車・EV車についてガソリン車と比較してメリットがあるのかわからない人が多い
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・電気ステーションの少ない ・EV車の普及率が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設に電気ステーションを増設する ・EV車促進活動を推進する
	3) 再生可能エネルギーの利用促進	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデネレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネについて具体的な取組が見えない
		B		
イ その他の地球環境問題への対応	1) PM2.5・フロンガスなどの情報収集、提供	A	<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響評価（アセスメント制度） ・PFOS・PFOA 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の問題は知らないことが多い ・身近にできることの情報発信が足りない
		B		<ul style="list-style-type: none"> ・周知・講座等を通して、地球環境の問題が身近に感じる姿

(3) 自然環境・農業（自然・農業の保全）【意見数：現状と課題 13、あるべき姿・めざす姿 11】

		国のキーワード	グループ	現状と課題	あるべき姿・めざす姿	手法・施策
ア 身近な自然資源の情報発信	1) 豊かな森林・河川環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイチャー ポジティブ ・生物多様性 ・アーバンベア ・ネット・ゼロ 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・近場での自然・動物と接する機会が少ない ・大人になると街路樹が汚いなど、悪いところが目につく 	<ul style="list-style-type: none"> ・近場での自然・動物と接する機会の創出 ・滝川の強みである川を活用する ・植樹体験で環境意識の醸成を行う ・緑の少年団の見直しをする 	
			B	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の学ぶ機会が少ない ・川の活用が少ない ・上下水道の意識が低い (誰かの下水が自分達の上水になっているという意識) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の学ぶ機会の創出 ・川を活用する (例：利用者が多いB&Gを活用) ・川のごみの活用(例：川の漂着物の利用) ・石狩川・空知川の水を美味しい水に (補足：上下水道の意識が大切) 	
	2) 豊かな自然资源の活用と保全	<ul style="list-style-type: none"> ・自然資本 ・バイオマス 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹が少なく、あっても手入れがされていない ・公園・施設の景観が悪い ・公園・施設があることを知らない人が多い ・商店街の花壇はきれいに整備されている ・整備などの活動をしている人の想いが伝わらない ・街路樹についてまちづくりの方向性が示せていない ・市として街路樹の維持や緑化の方向性についてどのように考えているかわからない ・滝川市の土地の6割が森林や農地 ・滝川市は雪が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の整備 ・公園・施設の整備 ・整備している活動や想いなど頑張る人の情報を発信 ・しっかりとした道路には緑化・緑樹をすべき ・街路樹・緑化計画について市の方針を表明すべき ・皆が望む街路樹・公園・緑地の設定・共有する ・伐採木を利用したチップボイラ ・利雪(例：雪を利用した冷風) 	
			B	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を学ばせる人、講師が少ない ・道外の人にとって北海道の景色はいつまで経っても感動する ・価値がある北海道の景色を活用しきれていない ・リサイクリーンの施設見学など活用されていない ・地域の自然を活用したアクティビティが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元民が気づかない価値、空と田園の風景の活用 (補足：お金をかけてできないものが観光になる) ・環境ガイドを育成する (滝川と江部乙を知つてもらうために環境について話せるガイドの育成) ・リサイクリーンを活用した学習会を開催する ・地域の自然を活かしたアクティビティを盛んに実施する 	
イ 豊かな農業環境の保全と活用	1) 環境にやさしい農業や地産地消などの推進		A	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時間中に育成の様子のビデオを放送している ・給食便りでの食育を実施している 		
			B			
	2) 農業とのふれあいの場の提供・確保		A	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験の機会が少ない ・農業体験に対しての市のバックアップが足りない 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家とタイアップして農業体験を定番化させる ・学校単位での農業体験を補助する ・学校単位での稲作をする 	
			B	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を学ばせる人、講師が少ない 		

(4) 環境コミュニティ（人のつながり）【意見数：現状と課題 6、るべき姿・めざす姿 6】

		国のキーワード	グループ	現状と課題	るべき姿・めざす姿	手法・施策
ア 環境に関する情報の発信と共有	1) 情報の提供と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs ・地域循環共生圏 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市内団体の活動を周知が足りない ・野鳥の観察会・川下り体験等を知らない人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内団体の活動を周知する ・野鳥の観察会・川下り体験等、活動団体との連携・情報発信の強化をする 	
			B	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者同士のコミュニケーションができるいない ・高齢者のデジタルデバイドが心配 ・菜の花まつりでの農家と市の関係が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の集う場所の整備をする ・いろいろな立場の人が考え、交流(共同作業)ができることが必要 (高校生がいる場所として、みんなくる・くるるの活用) ・菜の花まつりで農家と市の話し合いが必要 	
イ 環境教育の充実	1) 環境学習・環境保全活動の促進		A	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀正しい小学生が増えてきている ・子ども達が大人に与える影響力は強い ・エコたきを知らない人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達のにぎやかさと影響力を周囲へ環境面で突出した地域を目指す ・子どもと地域の関わりを増加させる ・環境イベントの定期的な開催をする (例: WaiWaiフェスタ) ・エコたき教室を開き、子どもの教育から意識付けをする 	
			B			

(5) その他【意見数：現状と課題 16、あるべき姿・めざす姿 4】

国のキーワード	グループ	現状と課題	あるべき姿・めざす姿	手法・施策
	A	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前が静か ・学生・子ども達の憩いの場がない ・道路の落ちているごみ、街路樹の落ち葉。空き地の雑草などで汚い ・環境への取組の周知が見られない ・環境への取組を行うことでの費用削減や楽しさといったメリットを知らない、メリットを実感できる情報発信が足りない ・買い物利便性に地域差がある ・滝川市の取組とSDGsのつながりが見えない ・他市町比較して除排雪は良い ・除排雪のオペレータ不足 ・滝川市として何を重点とするかを整理する必要がある ・滝川市の環境施策の特色を出す必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前を活性化させる(学生・子ども達の憩いの場の整備) ・道路・空き地の整備をする ・環境への取組のPRに力を入れる ・環境への取り組むメリットをPRする ・農村地域が買い物をしやすいようにする(例:乗り合いタクシー) ・SDGsを全面に出し、つながりを意識した活動をする ・滝川市として重点的にやっていく施策を示す ・重点とする特色ある施策を設定・発信し、市民へアピールする 	
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家・空き地(耕作放棄地)がある ・空き家について防犯面で心配 ・シャッター街・道路の雑草が多い ・買い物・通院など交通が不便 ・公共交通機関が少ない ・移動手段の確保が必要 ・人口減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境意識が高いと言われ、自慢に思える姿をめざす ・住居・店舗・倉庫として程度の良い空き家を活用できるように空き家リストを作成する ・コミュニティバスの導入 	